

WEEKLY O

徹底追及 2002年W杯サッカー オレ達のチケットが危ない!

¥290

No.40

第35巻第36号  
昭和41年11月30日第三種郵便物認可  
平成12年10月3日発行(火曜日発行)

編集人 田中知二  
発行人 福田 収

発行所 集英社

〒101-8050

東京都千代田区一ツ木二の五の二〇

販売部  
32300・6371  
32300・6393  
32300・6201

定価 290円  
時次号発売まで  
本体 276円

# プレイボーイ

10・3 No.40

巻頭グラビア **小池栄子**

かじりつきたい! たわわな果实。

秘蔵ショットを復刻!

**眞鍋かをり・山川恵里佳**

**藤崎奈々子**ほか

144分の1シリーズ最新ラインナップ **ガンプラ進化論2**

[スペース・ノンフィクション] **キミは宇宙人に  
拉致されたことがあるか!?**

[夜遊びIT革命] **キャバクラ嬢にウケる  
iモードサイトはここだ!**

ファンも喜べない!? **ミレニアム巨人軍**

## "史上最低の優勝"を 徹底検証

**速報!**  
シドニー五輪  
サッカー  
代表の激闘

**受験生  
必読!?**  
[第4学区]  
の教育論





# 漫画家 永井豪

●ながい ごう/漫画家。1945年、石川県出身。石ノ森章太郎のアシスタントを経て67年にデビュー。以来、『ハレンチ学園』『デビルマン』『マジンガーZ』『キューティーハニー』『バイオレンスジャック』など多くのヒット作を世に送り出した漫画界の巨匠。現在、『マガジンZ』誌上での『機神』を含め、連載3本を持つ

「UFOアブダクション」。直訳すると「UFOによる誘拐」。そのへ体験者Vらのカウンセリングを通して驚愕の実態に迫ったノンフィクションがある。全米ベストセラーの『アブダクション』だ。著者でハーバード大学のジョン・E・マック教授（精神医学）の来日に合わせ、本誌は、独特の世界観を持った作品で問題提起をしつつける漫画家の永井豪氏に対談をお願いした。

# 人に れたことがあるか!?

「僕も、UFOも乗っていた人影の  
ようなものを見たことがある(永井)

一説によると、アメリカでは数十万人がアブダクションの経験者だといわれている。宇宙船に連れ去られ、性的虐待を受けたと訴える者、体内になんらかの物質をインプラント(埋め込み)された者(\*ある調査では、インプラントされた物質が地球上に存在しない同位元素を持つということが判明)など。マック教授は、あり得るはずのない話を聞くうちに、アブダクティ(誘拐経験者)たち自身がそれらを現実だと感じていること、そしてそれが彼らのでっち上げではないことを理解する…。

宇宙船に乗っていた記憶が甦ってくる人もいます。PB 永井先生の経験も、実は夢ではなくてアブダクションだった(笑)。

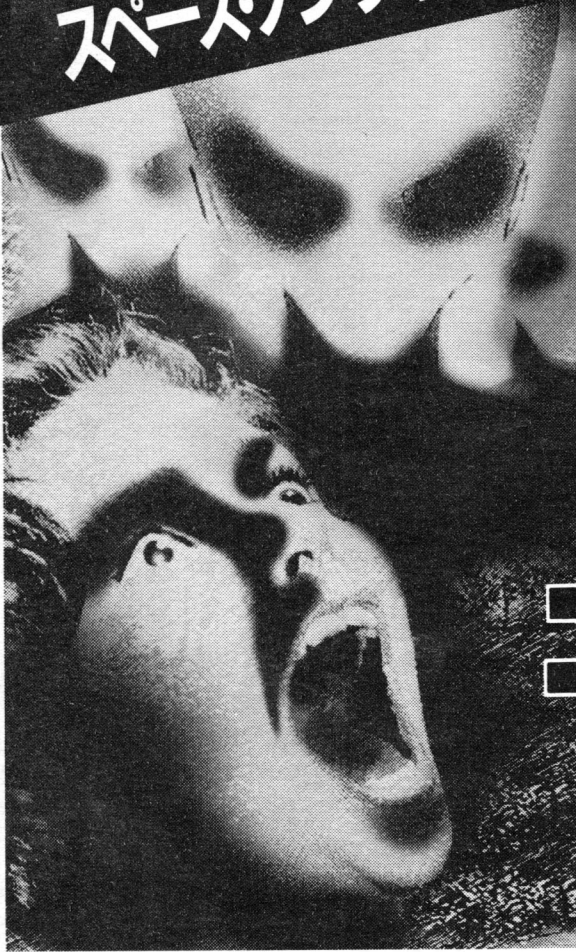
永 そうなのかなあ。紙に向かうと急にマンガのアイデアが浮かんできたりするの、誰かがメッセージを送っているのかな(笑)。でも、ホントに夢だと思いますけど。マ どんな夢でしたか?

永 UFOに乗りました。エイリアンの姿は見えませんでした。宇宙船の床が急に透明になって、下方の風景がすごい速さで流れていました。実際にUFOを見たのは妻と一緒に高速道路を走っている時で、ずっとUFOがついてくるんですよ。だから彼女も一緒に見えています。かなり離れていましたが、ずっと同じ距離で飛んでいて、途中、車をサービスエリアで駐めたら向こうも止まったんです。その時、UFOの窓から人影のようなのが見えました。マ その時、なにか感情的な

スペース・ノンフィクション対談

アブダクションの  
知られざる実態

# キニバ「宇宙 拉致さ



ハーバード大学教授

ジョン・E・マック

エネルギーのようなものを感じ  
ませんでしたか？

永 なんだかうれしくなっ  
ちゃって。ハッピーでした。

マ ハッピー…。それは素晴  
らしい。エイリアンやUFO  
は怖いと感じるのが普通で  
す。そして、信じるか信じな  
いかのふたつの態度に分かれ  
てしまう。それは現代の科学  
で証明できる、できないとい  
う分け方かもしれません。ア

「このままでは地球と人類が減ぶ。  
宇宙人はそう警告しているのかも」マック

マック教授がカウンセリン  
グを行なったアブダクティの  
体験には共通点がある。不思

ブダクティたちの経験はその  
境界にあるもので、科学の限  
界に挑んでいるとも言えるも  
のなんです。

永 よくわかります。ただ、こ  
の本を読んで感じたことは、  
その正体はわからないけど、  
彼らが人類になにかメッセー  
ジを伝えようとしているので  
はないかということなんです。  
マ 私が本で言いたかったこ  
とも、まさにその点です。

議な空白の時間、悪夢、光、  
移動の際に壁をすり抜けたり  
…。男性は精子を取られ、妊

●ジョン・E・マック／ハーバード大学医科大学院精神医学教授。心理アナリス  
トとして冷戦の原因、地球生態環境危機、民族ナショナリズムなどの分析に  
取り組む。90年以降、アブダクションを経験した世界6大陸の200人以上を調  
査、研究している。T.E.ロレンスの評伝で77年度のピューリッツァー賞受賞歴も

娠させられた女性の例もある。彼らの精神と肉体に大きな影を落とすレイプもどきの体験。それがエイリアンによるものだとしたら、人類にどんなメッセージを伝えようとしてのことなのだろうか？

PB 異界からのメッセージとはなんでしょう？

永 例えば地球環境にしても、このまま破壊が続けば地球も人類も滅びてしまう。そのことを教えようとしているとか。近年、世界的に環境保護への意識が高まっているのは、そこには宇宙なのか異次元なのか、未知の知性からのメッセージが働いているように思えるんですよ。人間だけの意思ではないんじゃないかって…。

マ この本の次に書いた『P ASSPORT TO THE COSMOS』（宇宙へのパスポート）では、さらに多くのケースを紹介していますが、アブダクションを経験した後で地球環境への意識が高まることは確かにあるようです。人類には環境へのケアが欠けているのは事実だし、

それはイコール、これからの時代を生きる子供たちへのケアも足りないということ。確かに、地球が減ってしまう可能性を知らせようとしているのかもしれないですね。

PB ただ、アブダクションには怖いイメージがつきまわっています。エイリアンによる地球人の人体実験とでも言えそうですね…。

マ アブダクティたちもそれを怖い体験だと感じています。性的虐待やインプラントの記憶が心理的なトラウマになって自分は頭のおかしな人間なんじゃないかとさえ思っています。

『アブダクション』で紹介されているある男性は、エイリアンの女性と何干というハイブリッドの子供を作ったという。その時、地球の終末のイメージを植えつけられている。「たぐさんの人々が焼かれ、たぐさんの人々が右往左往している…人類の『形態』や『外見』が変わっていく」。これも人類へのメッセージなのか。また、別の男性は

でも、その恐怖の裏にメッセージがひそんでいるんです。そこが、これからの私の研究対象にもなるのですが。

永 性的虐待という言葉で語られていますが、エイリアンは地球人との混血、ハイブリッドを欲しがっているのかもしれない。そのハイブリッドを地球に送り込むことでメッセージを伝えようとしているのかもしれない。

PB すでにハイブリッドは地球上にいたりして…。

永 そうそう。指導的な立場にいて、世界の重要なことを決めているとか…。

アブダクションの後で自分が人類の世界と異界、ふたつの世界をつなぐ存在だと意識したり、ずっと昔から「宇宙の意思」を感じつつ輪廻転生している自己を自覚している。

## 「アブダクションは必ずしも怖いものではない」と思う(永井)

違っているのでしょうか？

マ なにも違っていません。それが答えです。未経験の人でも、これから遭遇するかもしれないし、実は経験しているのに記憶にないだけということも十分考えられます。

永 僕の友人にもUFOに連れ去られた経験を持っている人がいます。本人は信じているんだけど、そんなことを言い出すと頭がへんなんじゃないかと思われるのが嫌で、あまり話したがりません。『アブダクション』はアメリカでの例についての本ですが、告白していないだけで、日本にもアブダクティはたくさんいるはずですよ。記憶を抑制している人もいるだろうし…。

マ そう。世界中で多くの人アブダクションを経験しているはずですよ。それと、今、永井さんがおっしゃった「なかなか言い出せない環境」が大きな問題なんです。他人に話せないために、その体験が

PB アブダクションが「異界の住人」からのメッセージを伝えるための手段だと仮定して、アブダクションを経験する人としらない人とは何が

さらに大きなトラウマになってしまふ。それを避けることも私の研究の目的です。

永 マックさんのようにアカデミズムの立場から科学的に研究しようという人は少ないですから。特に日本には。

マ でも、この研究は全然お金になりません(笑)。今回、30人ほどの日本人アブダクティのグループと会う機会がありました。日本のアブダクティたちが参加し、経験を語ることでできるウェブサイトを制作の計画をしています。

PB アブダクション現象については、世界各地で報告されているのでしょうか？

マ 私が興味深く感じているのは南米や南アフリカで、そこではシャーマニズムなどの宗教と深く結びついています。永 エイリアンや異次元の誰かではなく、神が連れていったというわけですね。

PB 神で思い出しました。エイリアンは人類の傷



▲1994年に全米で出版されて以来、多くの論議を呼んだ本。神医学者として「治療」した200人以上のアブダクティのうち13人のケーススタディを報告した感動的な作品だ。信じられないのは別として、とにかく一読してみるべし。



「別の現実」の存在について熱く語り合うふたり。膝をつき合わせた対談は2時間を超えた

ついた状態に関心があるらしく、ある種の治療者ないし修復者の役割を演じている可能性がある、アブダクション体験者たちは感じているようだ」と本にありました。傷付き方の度合いによってアブダクションに遭う可能性は変わってくるのでしょうか？

マ 傷付いた状態というのはメタファーです。精神が傷付くこともあるし、肉体が傷付くこともある。心に穴が開いたという場合もあれば、腕にケガをして穴が開いて骨が見えているような場合もある。でも、両方ともなにかを受け入れることのできる「オープンな状態」なんです。だからメッ

セージを感知しやすくなるんだと考えてください。

永 なるほど。では、そのメッセージがどこからくるかなんですが、やはり僕はそこに関心があつて、異次元にいる生命体じゃないかと思つています。宇宙人、エイリアンという言葉よりも、精霊と呼ぶほうがびつたりくるような気がするんですね。人間とは分子の組成なんかも違つていて、手で触れることもできない光でできた生物とか…。

マ 彼らをなんと呼ぶかは難しい問題です。今日の対談にも彼らを指す言葉はいくつも出てきていますから。

永 天使かもしれないし、悪魔と呼ばれているものかもしれない。

P B デビルマン!?

永 人間から見て醜いものや怖いもの、悪にも善がひそんでいることだってある。そう思つて悪魔だけ善のキャラクターである『デビルマン』を書いたんですよ。

マ 永井さんが現在お書きになつているテーマは？

永 誰かが人類に知らせようとしてくるメッセージの内容と近いと思います。日本でも凶悪な犯罪が増えていますが、これまで人間が信じていた論理が破綻しかけていますだと思ふんです。環境の問題もそう。もう人類だけでは対処しきれないなら、別の世界とのコンタクトが必要なのではないでしょうか？

P B 積極的にコミュニケー

ションをとるべきだ、と。

永 本には「連れていかれた世界」の記憶が甦つたアブダクティが、そこをホームと呼んだり、幸せな気分になつて涙があふれたりするケースも紹介されていますしね。必ずしもアブダクションが怖いものとは限らないと思います。

P B この本を読んで、オレも宇宙に連れ去られたと思う読者もいるかもしれないですね(笑)。マック教授の次の本のタイトル「パスポート」からは旅行の楽しげなイメージがありますし…。

マ どうぞポジティブに理解してください。もし宇宙から誰かがやってきたらエイリアンよりもビジター(訪問者)ぐらいに考えてほしいですね。

山に賭ける猛き心、  
苛酷な挑戦を描いて  
感動をよぶ巨編！  
好評発売中



●第11回柴田錬三郎賞受賞作

# 神々の山嶺(上・下)

いたゞき

## 夢枕 獏

エヴェレスト南西壁冬期無酸素単独登頂。その前人未到の夢に伝説の男が挑む！極限の世界でおりなす物語。

本体(上)724円 / (下)800円 + 税

ひとりの時間を、大切に…

集英社文庫